

加賀市医療提供体制推進委員会女性アドバイザー一部会（第1回） 会議録

日 時：平成24年7月23日 午後4時開会

出席委員：赤澤部会長、井村委員、窪田委員、齋木委員、柴田委員、島貫委員、中西委員、
中野委員、西委員、西本委員、舛田委員

欠席委員：山崎委員

(50音順)

<会議の概要>

○委嘱状の交付

○市長挨拶

加賀市医療提供体制推進委員会女性アドバイザー一部会の第1回ということでございます。ご案内のように、前年度は調査検討委員会のほうで、各委員の方に慎重にご審議をいただきました。今回、基本計画を作らせていただき、現在ホームページ等でもご覧いただけるようになっておりますし、パブリックコメントを挙げています。8月の中旬ごろにそれを取りまとめまして、最終的な基本計画ということで、市のほうから、今度は議会のほうに提示をさせていただいて、必要な予算を要求する予定をしております。予算が通りますと、今度は公開プロポーザル方式で、設計施工を一体となった形でご応募いただきまして、その中から委員会でご審議をいただいて、順次決めていくと、このように考えております。それまでの間もでございますし、具体的には、この工事に取りかかりましても、いろいろな問題があるかと思えます。皆さまのご意見を十分に反映したいと思っておりますので、これからも引き続きご審議をお願いします。今後とも、日常の業務が大変だと承知いたしておりますが、市の発展のためにご協力いただきたいようお願い申し上げます。今後のご審議のほどをお願いいたします。

○事務局紹介

○部会長の選任

○議事

議題1 加賀市統合新病院建設基本計画の策定について

事務局説明 資料1

質疑応答

特になし

議題2 基本計画(原案)に対するご意見について

事務局説明 **資料2**

委員の意見等

※ () 内の委員名は、確認用のみに表示したもので、公表時には削除します。

(1) 福利厚生・アメニティに関すること

- ・自分が今働いてみて、子育て支援は充実してきているが、どこまで充実しているか明確なものかわからない。もう少しわかりやすく対応をして欲しい。(中西委員)
- ・外来のスタッフ用のトイレがあればいいと思う。女性はどうしてもトイレの回数が多いのと、午後まで外来診察があることが多い。患者さんが待っている中をトイレに行って、戻ってくるのは結構つらいので、そういう配慮があればいいと思う。(井村委員)
- ・トイレの他にパウダールームもあつたらいいと思う。(赤澤委員)
- ・売店について病院らしさを出すために、健康に気を配った食べ物を扱うような業者に頼むといいと思う。(井村委員)
- ・職員の更衣室から、直接にお風呂場、シャワールームに行けるようにして欲しい。(山崎委員)
- ・患者さんと職員を分けた食堂が欲しい。(山崎委員)
- ・子どもの行事に参加できる勤務体系や時間休を取ることができる制度の構築をお願いしたい。(山崎委員)
- ・当直をしたときに、シャワーを利用しようと思った。しかしシャワールームが男女共用であること、スペースが狭すぎることなどで利用しづらい。また手術中にかなり汗をかくのだが、シャワールームが、設置されていないので困っている。新しい病院では、快適なシャワールームを設置してもらえれば助かる。(島貫委員)
- ・健康管理を充実させて欲しいと思う。タニタ食堂のような、職員の管理もしてもらえるスタッフがいるといいと思う。ジュースバーなどもあればいいと思う。(西本委員)
- ・職員健康診断のときに、血液検査の内容がシンプルすぎて内容がわからない。自己管理のために、もう少し詳細な結果が欲しい。(西本委員)
- ・病院は新しいのできれいだと思うが、清潔面は大事である。(井村委員)
- ・現在のトイレは狭く、患者さんが出入するとき苦勞することが多い。個室のスペースが広く、清潔で充実したものになったらいいと思う。(中野委員)
- ・災害時について、3日分の食品の在庫、トイレの他にパーティションを置いて欲しい。(赤澤委員)

(2) 院内保育に関すること

- ・院内保育でも、山中温泉医療センターと加賀市民病院で違う面があり、もう少し明確にして欲しい。(中西委員)
- ・保育園から電話があれば、予約がなくてもすぐに受け入れてくれる制度があればいいと思う。(舩田委員)

- ・お尻を軽く洗ったり、手足を洗ったりなどのスペースがあるといいと思う。(西本委員)
- ・男性医師本人だけでなく、その奥さんのことも考慮した制度があればいいと思う。医師は勤務先が変わることも多く、奥さんと子どもは一緒に来る。知人もいなく、子どもを預けて美容室に行く時間もないということを知る。そんなときに子どもを少し預ってくれる制度があると、医師を集めやすくなるのではないか。(舛田委員)

(3) 分娩・周産期に関すること

- ・母子同室がある場合、必ず、個室が必要になると思う。自分も出産してみて分かったのだが、24 時間体制でずっと子どもを見なければならぬ場合、個室のほうが、親としても家族としても見やすいと思った。(中西委員)
- ・産婦人科病室は基本的に個室がいいと思う。(中野委員)
- ・ライトや医療機械が、妊婦さんの目に入らないほうがいいと思う。出産はそれほど簡単なものではないので、きちんとした動線を確保できる広々としたスペースがいいと思う。(舛田委員)
- ・二人目、三人目の出産では、家族がいっしょにいることができるように、ゆったりできる畳のようなスペースであるといいと思う。(中西委員)
- ・无影灯があるとオペ室のようになる。できれば仰々しい医療機器がないほうがリラックスできる。妊婦は真横を向くのがつらいので、ライトの調整ができたり、テレビが天井から下がっていただければいいと思う。(中西委員)
- ・加賀市の人が加賀市で産みたいと思えるような快適性を重視した分娩室があればいいと思う。(赤澤委員)

(4) その他質問事項

- ・子どもが手を挟まないような扉とは、どのようなものか。(中西委員)
→硬めのゴムを扉の両側につけて、指が入らない処置をとっている扉である。(事務局)
- ・透析の運営システムについて、「患者個人による外部業者からの食事提供を検討する」となっているが、食中毒の危険性などは検討されているのか。(西委員)
→食中毒の危険性を回避するため、外部業者の選定と搬入ルートの確立をきちんと検討する予定である。(事務局)

○事務局連絡

- ・会議録は、発言者の氏名を省略し、発言内容を箇条書きにする。完成次第送付するので、確認をお願いしたい。

○閉会

午後 5 時 8 分閉会